

公益社団法人環境科学会の概要について

【目的】

本会は、人間と環境に関わる学問分野の専門家や研究者などの相互交流を図り、その有機的連携のもとに、環境科学に関する諸問題を学際的かつ総合的に調査・研究し、環境科学の学術文化の発展に寄与するとともに、これらの成果の普及・啓発に努め世界の環境保全や創造に貢献することを目的としています。

【設立と経緯】

人間活動と自然環境の調和を維持し、豊かな環境を創造する新たな方策を探求するためには、自然科学、社会科学、人文科学の広い分野の研究者の密接な連携が必要であり、また息の長い学術的な研究が求められます。

環境問題が現象の複合化、広域化、多様化などのために、より一層総合的かつ長期的な取り組みを必要としつつある現在、学際的な研究体制を永続的に維持すると同時に、環境科学に関心を有する多くの人々の英知を結集することが重要と思われれます。

本会は、環境科学全体の発展のために 1987年11月任意団体として発足、その後、1993年6月に社団法人として認可され、2013年7月に公益社団法人へ移行し、現在に至っています。発足後わずか6年で社団法人化に至った背景には、地球環境問題をはじめ、人間社会と環境との関わりについて社会的な関心が高まっていることが挙げられます。今後、人類生存の持続性と安全・快適性の向上に向けて、本学会の果たす役割がますます期待されていると言えます。

【学会ホームページ】

<http://www.ses.or.jp>

【事業の内容】

本会は、次のような事業を行っています。

(1) 表彰・若手育成事業

- ・環境科学の研究において顕著な業績をあげた研究者に、学会賞・学術賞・奨励賞・論文賞を贈呈しています。
- ・毎年、年会（研究発表会）において、若手研究者による創意ある研究企画の提案を行った若手研究者に、優秀研究企画賞を授与し、表彰しています。
- ・毎年、年会（研究発表会）において、優秀な研究発表を行った若手研究者と学生に、最優秀発表賞ならびに優秀発表賞を授与し、表彰しています。

（最優秀発表賞ならびに優秀発表賞は、次の3つの部門に分かれています）

ポスドクおよび博士課程学生部門
修士課程（博士課程前期を含む）学生部門
学部学生、高専生、高校生部門

(2) 年会、シンポジウムおよび講習会等の開催

- ・1998年以来、毎年1回、年次研究発表会を各地で実施しています。
- ・また、年会の際にテーマ・企画を公募し、シンポジウムを開催しています。

(3) 学会誌および学術図書の刊行

- ・1998年6月に創刊号を発刊後、次年度から季刊誌に以降、2001年度より年6回発行しています。2017年1月号より、学会誌の冊子再配布を中止し、総合電子ジャーナルプラットフォーム（J-STAGE）上に同誌を全面公開しました。同誌掲載論文は、J-STAGEのホームページより、誰でも無料で閲覧することができます。これにより、研究成果の普及および環境科学の発展に一層貢献できるものと期待されます。
- ・本学会の会誌は、環境科学関連の総合論文、一般論文、短報、研究資料、論説、総説、解説などの記事からなります。2001年からは、座談会やインタビューなど、学会の顔が見える企画記事や特集論文も掲載しています。

(4) その他の活動

- ・環境の保全・創造に関する調査および研究、内外の関連学協会等との交流および協力、会員相互の情報および研究の交流を積極的に行っています。
- ・学会ホームページにおいて、学界の最新動向や市民公開講演会などに関する情報を掲載しています。興味がある方は、ぜひ、学会ホームページをのぞいてみてください。

【入会の案内】

- ・環境科学に関連する研究、教育、業務に関する経験を有する個人・団体で、本学会の活動に興味がある場合は、ぜひ本学会にご入会ください。
- ・入会案内の詳細は、学会ホームページ（<http://www.ses.or.jp>）に掲載されています。



